

科目名	情報科学 I					
科目名(英)	Information Science I					
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	中西真由美	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	学校にて非常勤講師として勤務 (Word・excelを教授)	
対象学科・学年	看護科・1年					
授業概要	社会が望んでいる医療の情報化を実現する為に、情報の管理や情報の利用について正しく理解する事が不可欠であり、看護師の情報活用能力を高めることを目的とする。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○	○			ワードの基本的機能から応用的機能までの方法やテクニックが実践できる。
	○	○	○			エクセルのグラフ機能を用いてデータの処理ができる。
	○	○	○			パワーポイントを用いてプレゼンテーションができる。
テキスト・教材 参考図書	実教出版企画開発部:『30時間でマスター Word&Excel 2016』, 実教出版, 2016					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	<時間1・2> 情報科学の基礎				配布資料の事前通読
	2	<時間3・4> Wordの基本操作①(キーボード操作, 簡単な文章入力, ローマ字入力)				配布資料の事前通読
	3	<時間5・6> Wordの基本操作②(簡単な文章入力と文書作成と編集, 表作成)				配布資料の事前通読
	4	<時間7・8> Word応用編① (文書に表入りの文書を作成する, 図と表の挿入)				配布資料の事前通読
	5	<時間9・10> Word応用編② (縦書き文章, 段組み, その他の応用機能を学ぶ)				配布資料の事前通読
	6	<時間11・12> Wordまとめ				配布資料の事前通読
	7	<時間13・14> Excelの基礎的操作①(表作成, 色, セルに関する操作, 基礎機能の理解)				配布資料の事前通読
	8	<時間15・16> Excelの基本操作②(グラフ作成, グラフの編集機能と補助的な機能)				配布資料の事前通読
	9	<時間17・18> Excelの関数を用いたデータの処理				配布資料の事前通読
	10	<時間19・20> Excelまとめ				配布資料の事前通読
	11	<時間21・22> パワーポイントの操作方法ー基礎				配布資料の事前通読
	12	<時間23・24> パワーポイントの操作方法ー図の挿入				配布資料の事前通読
	13	<時間25・26> パワーポイントの操作方法ーアニメーション				配布資料の事前通読
	14	<時間27・28> インターネットについて				配布資料の事前通読
15	<時間29・30> まとめ				配布資料の事前通読	
評価方法	試験はワード・エクセルのみ。 60%以上を合格とし、59%以下は再試験対象となる。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	筆記試験	◎	◎			80%
	講義中の実技			◎		20%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。					

科目名	心理学						
科目名(英)	Psychology						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	大黒剛		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	施設にて心理士として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	看護をする上で自己理解および他者理解について学ぶと共に、それらに関連する理論についても学ぶ						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				1. 心理学の種類について述べるができる。	
	○	○				2. 知覚・盲点について述べるができる。	
	○	○				3. 記憶の過程(短気・長期記憶)について述べるができる。	
	○	○				4. 精神機能について述べるができる。	
	○	○				5. 学習について述べるができる。	
	○	○				6. 表情と情動について述べるができる。	
	○	○				7. 性格の心理について述べるができる。	
	○	○				8. 集団の心理について述べるができる。	
テキスト・教材 参考図書	山村 豊:『<系統看護学講座 基礎分野>>心理学』, 医学書院, 2017年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	<時間1・2>心理学の種類について				配布資料の事前通読	
	2	<時間3・4>知覚・盲点、系列位置効果実験				配布資料の事前通読	
	3	<時間5・6>記憶の過程(短気・長期記憶)				配布資料の事前通読	
	4	<時間7・8>プライミング、サブリミカル効果(閾下刺激)、単純接触効果				配布資料の事前通読	
	5	<時間9・10>技能学習、学習曲線(S字曲線と高原現象)				配布資料の事前通読	
	6	<時間11・12>精神機能について(思考、思考過程、知識、概念、素朴概念、				配布資料の事前通読	
	7	<時間13・14>表情と情動(ホットシステム、クールシステム、レジリエンス)				配布資料の事前通読	
	8	<時間15・16>性格の心理(乳幼児の性格の発達、フロイトの心理、エリクソンの心理)				配布資料の事前通読	
	9	<時間17・18>集団の心理—地位と役割、指導者、PM理論				配布資料の事前通読	
	10	<時間19・20>集団の心理—コミュニケーション、世論、流行、宣伝				配布資料の事前通読	
	11	<時間21・22>学習について—問題解決法の方略				配布資料の事前通読	
	12	<時間23・24>学習について—メタ認知、推論とは				配布資料の事前通読	
	13	<時間25・26>学習について—IQとEI、知能の発達要因				配布資料の事前通読	
	14	<時間27・28>学習について—条件刺激、無条件刺激				配布資料の事前通読	
	15	<時間29・30>学習について—モデリング、刷り込み、学習の転移				配布資料の事前通読	
評価方法	・筆記試験にて評価を行う。 ・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は、科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	生命倫理学						
科目名(英)	Bioethics						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	脇嵩晴		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	大学にて助教教授として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	生命に対する基本的権利や倫理を知り、生命の尊厳と専門職としての倫理とは何かについて考えを深める						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				安楽死についてそれを「なぜそうすべきか?」という根拠をもって説明できる。	
	○	○				ホスピスの思想についてそれを「なぜそうすべきか?」という根拠をもって説明できる。	
	○	○				臓器移植についてそれを「なぜそうすべきか?」という根拠をもって説明できる。	
	○	○				人工臓器・異種移植・再生医学・生殖医療についてそれを「なぜそうすべきか?」という根拠をもって説明できる。	
	○	○				インフォームド・コンセントについてそれを「なぜそうすべきか?」という根拠をもって説明できる。	
	○	○				人工妊娠中絶についてそれを「なぜそうすべきか?」という根拠をもって説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	脇 崇晴 他:『考えよう! 生と死のこと—基礎から学ぶ生命倫理と死生学—』, 木星舎, 2016						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	＜時間1・2＞ 哲学の一分野としての生命倫理学			配布資料の事前通読		
	2	＜時間3・4＞ 安楽死・尊厳死の定義			配布資料の事前通読		
	3	＜時間5・6＞ 患者の苦痛、生きる意味、死の恐怖			配布資料の事前通読		
	4	＜時間7・8＞ 医療従事者の倫理、権利と義務			配布資料の事前通読		
	5	＜時間9・10＞ 安楽死肯定論と否定論			配布資料の事前通読		
	6	＜時間11・12＞ WHOの緩和ケアの定義			配布資料の事前通読		
	7	＜時間13・14＞ SOLとQOL、患者の自由と幸福			配布資料の事前通読		
	8	＜時間15・16＞ 脳死と臓器移植、脳死は人の死か?			配布資料の事前通読		
	9	＜時間17・18＞ 臓器不足、各国の臓器移植制度と自己決定			配布資料の事前通読		
	10	＜時間19・20＞ 人工臓器の技術的な問題、種を超えた移植をめぐる諸問題			配布資料の事前通読		
	11	＜時間21・22＞ クローン技術、ES細胞研究の問題点、出生前診断の倫理的問題			配布資料の事前通読		
	12	＜時間23・24＞ インフォームド・コンセントとパートナーリズム			配布資料の事前通読		
	13	＜時間25・26＞ インフォームド・コンセントという思想、ガン告知、輸血拒否			配布資料の事前通読		
	14	＜時間27・28＞ 中絶反対論の論理、胎児の生きる権利			配布資料の事前通読		
15	＜時間29・30＞ 中絶擁護論の検討			配布資料の事前通読			
評価方法	・筆記試験にて評価を行う。 ・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は、科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	人間関係論									
科目名(英)	Human Relations Theory									
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	野見山待子					
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	大学にて非常勤講師(哲学)として勤務					
対象学科・学年	看護科・1年									
授業概要	人間は他者との関わりの中で成長発達を遂げていくものであり、看護は人間関係の上で成り立つものであると言う考えのもとに、円滑な人間関係を養っていく事の必要性を理解させる。若者のコミュニケーション能力の低下が社会問題となっている中で、人との関係性について、演習を通してその具体的な技術とともに学ぶ									
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				1. 自己や他者の存在の意味を理解し、自分の言葉で説明できる。				
	○	○				2. 自己と他者の関係の構造を理解し、自分の言葉で説明できる。				
	○	○				3. 対人コミュニケーションスキルを学習し、習得する。				
	○	○				4. 社会状況における「自己-他者関係」を理解し、社会的コミュニケーションスキルを習得することができる。				
テキスト・教材 参考図書	講師配布資料 岡堂哲雄:『人間関係論入門』, 金子書房, 2000 福井康之:『対人スキルズ・トレーニング』, ナカニシヤ出版, 2007									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	＜時間1・2＞人間関係の基礎					配布資料の事前通読			
	2	＜時間3・4＞「私」という枠組み					配布資料の事前通読			
	3	＜時間5・6＞価値観について					配布資料の事前通読			
	4	＜時間7・8＞「思い込み」について					配布資料の事前通読			
	5	＜時間9・10＞コミュニケーションの基本					配布資料の事前通読			
	6	＜時間11・12＞自分の話し方、きき方の検討					配布資料の事前通読			
	7	＜時間13・14＞話すこと・きくこと・観ること					配布資料の事前通読			
	8	＜時間15・16＞聴く・観る					配布資料の事前通読			
	9	＜時間17・18＞感情的になることと感情をおもてに表すことの違い					配布資料の事前通読			
	10	＜時間19・20＞「共感的理解」について					配布資料の事前通読			
	11	＜時間21・22＞自分の感情に責任を持つ					配布資料の事前通読			
	12	＜時間23・24＞葛藤とのつきあい方					配布資料の事前通読			
	13	＜時間25・26＞コンセンサスと人間関係作り					配布資料の事前通読			
	14	＜時間27・28＞協力と非協力					配布資料の事前通読			
	15	＜時間29・30＞変わる・成長する					配布資料の事前通読			
評価方法	・筆記試験にて評価を行う。 *コミュニケーションスキルは、講義中に演習にて評価を行うが点数に含めない。 ・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	筆記試験	◎	◎				100%			
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は、科目の評価を受ける資格を失う。									

科目名	外国語(英語) I						
科目名(英)	Foreign language I						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	マックス・ゴンザレス ロバート・ミッドラム		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	2名とも学校にて英語講師として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	英語で患者と意思疎通を図るための看護英会話の基礎を学ぶ						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				急に英語で話しかけられたときの対応ができる	
	○	○				自己紹介のときの基本的な質問と答え方ができる。	
	○	○				丁寧な質問の仕方ができる。	
	○	○				住所・電話番号・日付の読み方・書き方ができる。	
	○	○				初診患者が訪れたときの基本的な質問ができる	
	○	○				病院の案内図をもとに道順の尋ね方と答え方ができる。	
	○	○				症状の尋ね方がわかる。	
	○	○				External Body Parts とInternal Body Parts の名称がわかる。	
	○	○				病歴の尋ね方がわかる。	
	○	○				薬の服用に関する表現ができる。	
	○	○				時間の表現ができる。	
○	○				手術に関する表現ができる		
テキスト・教材 参考図書	クリスティーンのやさしい看護英会話 Challenge Book						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	<時間:1・2>Please speak more slowly.				配布資料の事前通読	
	2	<時間:3・4>Where are you from?				配布資料の事前通読	
	3	<時間:5・6>Could you tell me your address, please?				配布資料の事前通読	
	4	<時間:7・8>Where does it hurt?				配布資料の事前通読	
	5	<時間:9・10>What are your symptoms?				配布資料の事前通読	
	6	<時間:11・12>Have you ever had any serious illnesses?				配布資料の事前通読	
	7	<時間:13・14>What department do you want to visit?				配布資料の事前通読	
	8	<時間:15・16>Take one tablet, four times a day.				配布資料の事前通読	
	9	<時間:17・18>Aで始まる名詞				配布資料の事前通読	
	10	<時間:19・20>Let me make an appointment for your test.				配布資料の事前通読	
	11	<時間:21・22>Bで始まる名詞				配布資料の事前通読	
	12	<時間:23・24>Your surgery will be tomorrow at 9 a.m.				配布資料の事前通読	
	13	<時間:25・26>Cで始まる名詞				配布資料の事前通読	
	14	<時間:27・28>How are you feeling today?				配布資料の事前通読	
15	<時間:29・30>Dで始まる名詞				配布資料の事前通読		
評価方法	・2名の講師による口頭試問と筆記試験にて評価を行う。 ・60%以上を合格とし、59%以下は再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	口頭試問・筆記試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	保健体育						
科目名(英)	health and physical education						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	中村忠紀		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	学校にて教諭として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	スポーツを通して健康管理の重要性また他者との協調性・メンバーシップ・リーダーシップを学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○	○			スポーツを通して健康の保持増進と体力の向上を図ることの必要性を説明することができる。	
	○	○	○			実技を通して、自己、他者との交流を深め、身体活動の楽しさを表現できる。	
テキスト・教材 参考図書	講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	<時間:1・2>保健体育の目的					
	2	<時間:3・4>健康・体力とは					
	3	<時間:5~9>健康に対する自己管理					
	4	<時間:10~16>体育実技ー大縄跳び				各スポーツチームの編成	
	5	<時間:17~23>体育実技ーバレーボール				各スポーツチームの編成	
	6	<時間:24~30>体育実技ーバスケットボール				各スポーツチームの編成	
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	・60%以上を合格とし、59%以下は再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	運動能力評価			◎	○		100%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	解剖生理学 I (消化器)						
科目名(英)	Anatmy Physiology I Digestive Ogam						
単位数	1単位	時間数	7時間/15時間	担当者	増本陽秀		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて医師として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	人体の機能と構造を系統的に理解することで、科学的根拠に基づいた観察や判断ができる能力を身につける。本科目では、消化器に関する身体臓器を学び、身体内部の変化について理解し、科学的根拠に基づいた看護を展開するための基礎知識とする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				1. 消化器の意味を述べる事が出来る。	
	○	○				2. 消化器官の名称を述べる事が出来る。	
	○	○				3. 消化器系の主要な構造を説明できる	
	○	○				4. 消化器系の主要な役割を説明できる。	
	○	○				5. 消化器官の調整機能を説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	林正 健二:『ナースング・グラフィカ 人体の構造と機能(1):解剖生理学』, メディカ出版, 2016 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	<時間:1、2> 口腔、舌、唾液腺、咀嚼と嚥下			配布資料の事前通読 解剖生理学 消化器系通読		
	2	<時間:3、4> 咽頭と食道、食道の蠕動運動と生理的狭窄部			配布資料の事前通読 解剖生理学 消化器系通読		
	3	<時間:5、6> 腹部消化管・肝臓・胆嚢・膵臓			配布資料の事前通読 解剖生理学 消化器系通読		
	4	<時間:7> まとめ			配布資料の事前通読 解剖生理学 消化器系通読		
評価方法	・筆記試験 60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験(増本)	◎	◎				100%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。 * 解剖生理学 I 1単位取得には、(解剖生理学 I 内分泌100%+消化器100%)/2=60%以上が必要。						

科目名	解剖生理学 I (内分泌)						
科目名(英)	Anatmy Physiology I Endocrine organ						
単位数	1単位	時間数	8時間/15時間	担当者	坂井二郎		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて医師として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	人体の機能と構造を系統的に理解することで、科学的根拠に基づいた観察や判断ができる能力を身につける。本科目では、内分泌器に関する身体臓器を学び、身体内部の変化について理解し、科学的根拠に基づいた看護を展開するための基礎知識とする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				1. 内分泌の意味を述べる事が出来る。	
	○	○				2. 内分泌器官の名称を述べる事が出来る。	
	○	○				3. 内分泌系の主要な構造を説明できる	
	○	○				4. 内分泌系の主要な役割を説明できる。	
	○	○				5. 主要なホルモンの調整機能を説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	林正 健二:『ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能(1):解剖生理学』, メディカ出版, 2016 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	<時間:1, 2> 内分泌の概念、ホルモンの概念、フィードバック調整			配布資料、解剖生理学(内分泌器系)事前通読		
	2	<時間:3, 4> GHの作用と分泌調整、甲状腺ホルモンの作用と分泌調整、オキシトシンの作用と分泌調整			配布資料、解剖生理学(内分泌器系)事前通読		
	3	<時間:5, 6> 上皮小体ホルモン、膵臓の内分泌機能			配布資料、解剖生理学(内分泌器系)事前通読		
	4	<時間:7, 8> アルドステロン、消化管ホルモン			配布資料、解剖生理学(内分泌器系)事前通読		
評価方法	・筆記試験 60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験(坂井)	◎	◎				100%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。 *解剖生理学 I 1単位取得には、(解剖生理学 I 内分泌100%+消化器100%)/2=60%以上が必要。						

科目名	解剖生理学Ⅱ(総論)						
科目名(英)	Anatmy Physiology II General Remarks						
単位数	1単位	時間数	6時間/30時間	担当者	山田哲久		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて医師として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	人体の機能と構造を系統的に理解することで、科学的根拠に基づいた観察や判断ができる能力を身につける。本科目では、細胞と組織、解剖学的用語について学び、身体内部の変化について理解し、科学的根拠に基づいた看護を展開するための基礎知識とする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				1. 解剖生理学とは述べる事が出来る。	
	○	○				2. 細胞小器官の構造について述べる事が出来る。	
	○	○				3. 細胞の機能について説明できる。	
	○	○				4. 漿膜、粘膜の構造と機能について説明できる。	
	○	○				5. 皮膚の構造と体温調整機能について説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	林正 健二:『ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能(1):解剖生理学』, メディカ出版, 2016 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	<時間:1、2> 解剖学・生理学とは			配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読		
	2	<時間:3、4> 細胞小器官の構造、細胞の機能			配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読		
	3	<時間:5、6> 漿膜、粘膜、結合組織性の膜、皮膚・体温、体温調整			配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読		
評価方法	・筆記試験 60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験(山田)	◎	◎				100%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。 * 解剖生理学Ⅰ1単位取得には、(解剖生理学Ⅱ総論100%+循環器100%+血液100+呼吸器100%)/4=60%以上が必要。						

科目名	解剖生理学Ⅱ(循環器)						
科目名(英)	Anatmy Physiology II Circulation						
単位数	1単位	時間数	8時間/30時間	担当者	田中あづさ		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	人体の機能と構造を系統的に理解することで、科学的根拠に基づいた観察や判断ができる能力を身につける。本科目では、循環について学び、身体内部の変化について理解し、科学的根拠に基づいた看護を展開するための基礎知識とする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				1. 循環器のしくみについて述べる事が出来る。	
	○	○				2. 心臓の構造について説明できる。	
	○	○				3. リンパの流れと機能について説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	林正 健二:『ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能(1):解剖生理学』, メディカ出版, 2016 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	<時間:1、2> 循環器のしくみ				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
	2	<時間:3、4> 心臓について(血管・内皮・中皮・上皮)				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
	3	<時間:5、6> リンパについて				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
	4	<時間:7、8> まとめ 振り返り				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
評価方法	・筆記試験 60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験(田中)	◎	◎				100%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。 *解剖生理学Ⅰ1単位取得には、(解剖生理学Ⅱ総論100%+循環器100%+血液100+呼吸器100%)/4=60%以上が必要。						

科目名	解剖生理学Ⅱ(呼吸器)									
科目名(英)	Anatmy Physiology II Blood									
単位数	1単位	時間数	8時間/30時間	担当者	後藤夕輝 岡久将暢					
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	2名とも病院にて医師として勤務					
対象学科・学年	看護科・1年									
授業概要	人体の機能と構造を系統的に理解することで、科学的根拠に基づいた観察や判断ができる能力を身につける。本科目では、呼吸器について学び、身体内部の変化について理解し、科学的根拠に基づいた看護を展開するための基礎知識とする。									
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				鼻腔の機能、鼻出血の好発部位を述べられる。				
	○	○				副鼻腔の種類を4つ挙げられる。				
	○	○				喉頭蓋の運動、喉頭を構成している軟骨(喉頭軟骨)を挙げることができる。				
	○	○				気管の構造、肺葉の構造、気管支の分岐について説明できる。				
	○	○				肺胞上皮細胞を2種類挙げ、それぞれの機能を説明できる。				
	○	○				換気(吸息・呼息)、呼吸曲線(肺気量分画)を描くことができる。				
	○	○				拘束性換気障害と閉塞性換気障害の特徴を説明できる。				
	○	○				酸素解離曲線および、酸素運搬の仕組みを説明できる。				
	○	○				呼吸中枢・中枢化学受容器・末梢化学受容器の関連を指摘できる。				
	○	○				種々の呼吸(異常)パターンを説明できる。				
テキスト・教材 参考図書	林正 健二:『ナースング・グラフィカ 人体の構造と機能(1):解剖生理学』, メディカ出版, 2016 講師配布資料									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	<時間:1、2> 鼻腔の機能、鼻出血の好発部位、副鼻腔の種類、喉頭蓋の運動、喉頭を構成している軟骨(喉頭軟骨)					配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読			
	2	<時間:3、4> 喉頭蓋の運動、喉頭を構成している軟骨(喉頭軟骨)					配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読			
	3	<時間:5、6> 気管の構造、肺葉の構造、気管支の分岐、肺胞上皮細胞、換気(吸息・呼息)について					配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読			
	4	<時間:7、8> 呼吸曲線(肺気量分画)、拘束性換気障害と閉塞性換気障害の特徴、肺の拡散能が低下、酸素運搬の仕組み、酸素解離曲線の仕組み、呼吸中枢・中枢化学受容器・末梢化学受容器の関連、種々の呼吸(異常)パターン					配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読			
評価方法	・筆記試験 60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	筆記試験(飛野)	◎	◎				100%			
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。 *解剖生理学Ⅰ1単位取得には、(解剖生理学Ⅱ総論100%+循環器100%+血液100+呼吸器100%)/4=60%以上が必要。									

科目名	解剖生理学Ⅱ(血液)						
科目名(英)	Anatmy Physiology II Blood						
単位数	1単位	時間数	4時間/30時間	担当者	和田麻美		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	人体の機能と構造を系統的に理解することで、科学的根拠に基づいた観察や判断ができる能力を身につける。本科目では、血液について学び、身体内部の変化について理解し、科学的根拠に基づいた看護を展開するための基礎知識とする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				1. 血液型について説明できる。	
	○	○				2. 凝固と線溶について述べる事が出来る。	
	○	○				3. 赤血球と白血球の機能と構造について述べる事が出来る。	
テキスト・教材 参考図書	林正 健二:『ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能(1):解剖生理学』, メディカ出版, 2016 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	<時間:1、2> 白血球と赤血球について				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
	2	<時間:3、4> 凝固と線溶、血液型について				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
評価方法	・筆記試験 60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験(和田)	◎	◎				100%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。 *解剖生理学Ⅱ1単位取得には、(解剖生理学Ⅱ総論100%+循環器100%+血液100+呼吸器100%)/4=60%以上が必要。						

科目名	解剖生理学Ⅱ(骨筋)						
科目名(英)	Anatmy PhysiologyⅢ Bones and Muscles						
単位数	1単位	時間数	10時間/30時間	担当者	①牛島貴宏 ②小島薫		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて①医師・②看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	人体の機能と構造を系統的に理解することで、科学的根拠に基づいた観察や判断ができる能力を身につける。本科目では、骨筋について学び、身体内部の変化について理解し、科学的根拠に基づいた看護を展開するための基礎知識とする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				1. 骨と骨格、骨の組織について説明できる。	
	○	○				2. 骨の働きと形態について説明できる。	
	○	○				3. 骨の構造と機能を部位に応じて説明できる。	
	○	○				4. 関節の構造について説明できる。	
	○	○				5. 筋肉について説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	林正 健二:『ナースング・グラフィカ 人体の構造と機能(1):解剖生理学』, メディカ出版, 2016 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	<時間:1、2> 骨と骨格・骨の組織、骨の働き・骨の形態				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
	2	<時間:3、4> 骨の構造と機能、頭の骨、背骨、腕の骨、骨盤、下肢の骨				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
	3	<時間:5、6> 関節の構造、筋肉について				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
	4	<時間:7、8> 骨の構造、足の筋肉について				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
	5	<時間:9、10> 骨の解剖				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
評価方法	・筆記試験 60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験(原・新鹿)	◎	◎				100%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。 * 解剖生理学Ⅲ 1単位取得には、(解剖生理学Ⅲ骨筋100%+神経100%+腎100%+生殖器100%)/4=60%以上が必要。						

科目名	解剖生理学Ⅲ(腎臓)						
科目名(英)	Anatmy PhysiologyⅢ Kidney						
単位数	1単位	時間数	8時間/30時間	担当者	藤崎毅一郎		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて医師として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	人体の機能と構造を系統的に理解することで、科学的根拠に基づいた観察や判断ができる能力を身につける。本科目では、腎臓器について学び、身体内部の変化について理解し、科学的根拠に基づいた看護を展開するための基礎知識とする。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				1. ネフロンを述べる事ができる。	
	○	○				2. 糸球体の濾過と尿細管の再吸収、分泌により尿が生成される過程を述べる事ができる。	
	○	○				3. 尿に含まれる物質をあげる事ができる。	
	○	○				4. 無尿、乏尿、多尿を提議する事ができる。	
	○	○				5. アルドステロンが腎臓に及ぼす影響について説明できる。	
	○	○				6. 排尿の機構を述べる事ができる。	
	○	○				7. 尿道の構造について男性と女性の差を説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	林正 健二:『ナースング・グラフィカ 人体の構造と機能(1):解剖生理学』, メディカ出版, 2016 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	<時間:1、2> 腎臓(腎臓の構造と機能、尿の生成、血液成分の調整)				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
	2	<時間:3、4> 尿細管、膀胱、尿道				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
	3	<時間:5、6> 排尿の生理(蓄尿の機構、排尿の機構、骨盤底筋群の役割)				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
	4	<時間:7、8> 泌尿器系の成長と老化				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
	評価方法	・筆記試験 60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
筆記試験(藤崎)		◎	◎				
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。 *解剖生理学Ⅲ 1単位取得には、(解剖生理学Ⅲ骨筋100%+神経100%+腎100%+生殖器100%)/4=60%以上が必要。						

科目名	解剖生理学Ⅲ(生殖器)						
科目名(英)	Anatmy PhysiologyⅢ Genital						
単位数	1単位	時間数	4時間/30時間	担当者	中村寿美得 林宗太郎 渡邊さや 新崎雅乃		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	とも病院にて医師として勤		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	人体の機能と構造を系統的に理解することで、科学的根拠に基づいた観察や判断ができる能力を身につける。本科目では、生殖器について学び、身体内部の変化について理解し、科学的根拠に基づいた看護を展開するための基礎知識とする。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				卵巣の機能を述べるができる。	
	○	○				卵管、子宮、膣と膀胱、直腸との位置関係を説明できる。	
	○	○				排卵の時期を述べるができる。	
	○	○				月経周期に伴う子宮内膜の変化、下垂体前葉ホルモンおよび、卵巣ホルモンの変化を述べるができる。	
	○	○				精子の産生後、射精されるまでの経路を述べるができる。	
	○	○				精巣の特殊な細胞の名所を挙げ、それらの機能を述べるができる。	
	○	○				男性の付属生殖腺の名所、開口部、および分泌物の役割を説明できる。	
	○	○				陰茎の構造を説明できる。	
○	○				男性ホルモンの機能を述べるができる。		
テキスト・教材 参考図書	林正 健二:『ナースング・グラフィカ 人体の構造と機能(1):解剖生理学』, メディカ出版, 2016 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	<時間:1、2> 女性生殖器(卵巣、管空系の構造、女性外生殖器の構造、性周期、妊娠と出産、乳腺、女性生殖器の成長と老化)				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
	2	<時間:3、4> 男性生殖器(男性生殖器の構造、男性の外生殖器の構造、生殖機能、男性の生殖器の成長と老化)				配布資料の事前通読 解剖生理学 総論通読	
評価方法	・筆記試験 60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	筆記試験(辻)	◎	◎				
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						
	*解剖生理学Ⅲ 1単位取得には、(解剖生理学Ⅲ骨筋100%+神経100%+腎100%+生殖器100%)/4=60%以上が必要。						

科目名	生化学						
科目名(英)	Biochemistr						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	日高大輔 有吉裕子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	2名とも病院にて臨床検査技師として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	生化学とは生命現象に関する事柄を化学的に解明しようとする学問である。生体の構造や機能について分析し、生命現象の本質を知ることが目的としからだの不思議発見について学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				1. 生体構成元素、分子構造、酸と塩基)を学び、理解する。	
	○	○				2. 体の最小構成単位である細胞の構造と機能を理解する。	
	○	○				3. 糖質、脂質、蛋白質の構造と機能(働き)を理解する。	
	○	○				4. 核酸(DNA、RNA)の基礎(構成単位、構造)を理解する。	
	○	○				5. 体内での水と無機質の役割を理解する。	
	○	○				7. ホルモンの種類と働きを理解する。	
	○	○				8. 代謝とは、どういうことなのかを理解する。	
	○	○				9. 酵素とはどういうものなのか、又その働きを理解する。	
	○	○				10. 核酸(DNA、RNA)の合成と分解を理解する。	
	○	○				11. 細胞の適応現象について述べる事ができる。	
	○	○				12. 肥満について述べる事ができる。	
	○	○				13. 循環障害について述べる事ができる。	
	○	○				14. 遺伝情報とは何かを知り、全て私達の体や体内物質はこの情報を基に作られていることを理解し、その工程を説明できる。	
	○	○				15. 代謝の異常が疾患につながりについて説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	宮澤 恵二:『ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能(2): 臨床生化学』, メディカ出版, 2018						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	＜時間:1・2＞生化学を学ぶための基礎知識			配布資料の事前通読		
	2	＜時間:3・4＞化学の基礎知識			配布資料の事前通読		
	3	＜時間:5・6＞細胞の構造と機能			配布資料の事前通読		
	4	＜時間:7・8＞糖質 脂質 蛋白質			配布資料の事前通読		
	5	＜時間:9・10＞核酸、水と無機質			配布資料の事前通読		
	6	＜時間:11・12＞血液と尿			配布資料の事前通読		
	7	＜時間:13・14＞ホルモン			配布資料の事前通読		
	8	＜時間:15・16＞代謝のあらまし			配布資料の事前通読		
	9	＜時間:17・18＞ビタミンと補酵素、酵素			配布資料の事前通読		
	10	＜時間:19・20＞脂質代謝、糖質代謝			配布資料の事前通読		
	11	＜時間:31・32＞蛋白質代謝			配布資料の事前通読		
	12	＜時間:33・34＞核酸代謝			配布資料の事前通読		
	13	＜時間:35・36＞代謝の異常、ポルフィリン代謝			配布資料の事前通読		
	14	＜時間:37・38＞遺伝情報			配布資料の事前通読		
15	＜時間:39・40＞先天性代謝異常			配布資料の事前通読			
評価方法	二人の講師の筆記試験にて評価を行う。 ・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	病理学						
科目名(英)	Pathology						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	久保山雄介		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて医師として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	身体の正常な構造・機能の学習を踏まえた上で、機能の不調が何故起こり、どのように現れるのか、疾病が起こるメカニズムについて学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				1. 病理学で学ぶ内容について説明できる。	
	○	○				2. 細胞・組織の障害と修復について説明できる。	
	○	○				3. 循環障害について説明できる。	
	○	○				4. 炎症と免疫、移植と再生について説明できる。	
	○	○				5. 感染症について説明できる。	
	○	○				6. 代謝障害について説明できる。	
	○	○				7. 老化について説明できる。	
	○	○				8. 先天異常と遺伝子異常について説明できる。	
	○	○				9. 腫瘍について説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	大橋 健一:『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学』, 医学書院, 2015						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	＜時間:1・2＞病理学総論				配布資料の事前通読	
	2	＜時間:3・4＞細胞・組織の障害と修復				配布資料の事前通読	
	3	＜時間:5・6＞循環障害				配布資料の事前通読	
	4	＜時間:7・8＞炎症と免疫、移植と再生医療				配布資料の事前通読	
	5	＜時間:9・10＞感染症、代謝障害				配布資料の事前通読	
	6	＜時間:11・12＞老化と死				配布資料の事前通読	
	7	＜時間:13・14・15＞先天異常と遺伝子異常、腫瘍				配布資料の事前通読	
評価方法	筆記試験にて評価を行う。 ・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	治療論 I (薬理学・漢方治療)						
科目名(英)	Therapeutics I Pharmacology						
単位数	2単位	時間数	45時間	担当者	①梅田勇一 ②田原英一		
実施年度	2020年度	実施時期	通期	担当者実務経験	病院にて①薬剤師・②医師として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	医療現場で用いられている薬物療法を受ける人々への看護につなげられるよう、薬物の知識と管理・薬物療法について学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				薬物治療における病気・使用目的・ナースの役割が説明できる。	
	○	○				薬の作用のメカニズムが説明できる。	
	○	○				薬物の影響(反復投与による薬効への影響・薬の治療域と作用点・受容体と投与経路)が説明できる。	
	○	○				薬の管理の注意点が説明できる。	
	○	○				感染症治療薬に関する基礎知識が説明できる。	
	○	○				抗アレルギー薬・抗炎症薬の作用と特徴が説明できる。	
	○	○				神経伝達物質と交感神経・副交感神経作用薬の作用が説明できる。	
	○	○				中枢神経系に作用する薬物の作用が説明できる。	
	○	○				心臓・血管系に作用する薬物の作用が説明できる。	
○	○				呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物の作用が説明できる。		
テキスト・教材 参考図書	古川 裕之:『ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち(2):臨床薬理学』, メディカ出版, 2016 講師配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	<時間:1・2・3> 薬物治療の目指すもの:薬による病気の治療			配布資料の事前通読		
	2	<時間:4・5・6> 薬物治療の目指すもの:薬の使用目的、薬物療法に重要なナースの役割			配布資料の事前通読		
	3	<時間:7・8・9> 薬理作用:薬の治療域と作用点			配布資料の事前通読		
	4	<時間:10・11・12> 薬理作用:受容体と投与経路、吸収・代謝・排泄			配布資料の事前通読		
	5	<時間:13・14・15> 薬効に影響する因子:反復投与による薬効への影響			配布資料の事前通読		
	6	<時間:16・17・18> 薬物の有害作用:過量のおこる背景			配布資料の事前通読		
	7	<時間:19・20・21> 薬物の有害作用:薬物使用の有益性と有害性			配布資料の事前通読		
	8	<時間:22・23・24> 薬の管理の方法と新薬の誕生			配布資料の事前通読		
	9	<時間:25・26・27> 抗感染症薬:感染症治療薬			配布資料の事前通読		
	10	<時間:28・29・30> 抗感染症薬:合成化学療法剤、抗ウイルス薬			配布資料の事前通読		
	11	<時間:31・32・33> 抗アレルギー薬・抗炎症薬			配布資料の事前通読		
	12	<時間:34・35・36> 神経活動に作用する薬物			配布資料の事前通読		
	13	<時間:37・38・39> 中枢神経系に作用する薬物			配布資料の事前通読		
	14	<時間:40・41・42> 心臓・血管系に作用する薬物			配布資料の事前通読		
15	<時間:43・44・45> 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物			配布資料の事前通読			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1名の講師の筆記試験にて評価を行う。</li> <li>・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。</li> <li>・漢方治療に関しては筆記試験無し</li> </ul>						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	微生物学						
科目名(英)	Microbiology						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	①的野多加志 ②丸谷知美 ③吉田真紀 ④浦園真司 ⑤廣門順子 ⑥内田守次		
実施年度	2020年度	実施時期	通期	担当者実務経験	病院(一)(二)医師・(三)看護師・(四)病棟長・(五)検査技師・(六)薬剤師として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	微生物の基礎知識、感染と発病、感染予防と治療について学ぶ						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				微生物の種類と特徴をおおまかに説明する	
	○	○				微生物と人間の生活について説明する	
	○	○				細菌の形態と配列・染色性について説明する	
	○	○				物理的・科学的環境、物質代謝について説明する	
	○	○				染色体・プラスミド・変異について説明する	
	○	○				常在細菌叢の功罪・分布について説明する	
	○	○				細菌との違い、真菌の抵抗力について説明する	
	○	○				原虫の特徴と基本構造、原虫の感染について説明する	
	○	○				ウイルスの特徴、基本構造、増殖過程について説明する	
	○	○				ウイルス学的分類、臨床的分類について説明する	
	○	○				感染・感染症・病原性・生体防御機構について説明する	
	○	○				上皮によるバリアー、生理学的防御、常在細菌叢による防御について説明する	
	○	○				食中毒・水系感染について説明する	
○	○				バイオハザードとバイオセーフティー バイオハザード・バイオセーフティーについて説明する		
○	○				細菌学的検査法について説明する		
テキスト・教材 参考図書	南嶋 洋一:『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[4] 微生物学』, 医学書院, 2018						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	<時間1・2> 第1章 微生物と微生物学				配布資料の事前通読	
	2	<時間3・4> 第2章 細菌の性質				配布資料の事前通読	
	3	<時間5・6> 第3章 真菌の性質				配布資料の事前通読	
	4	<時間7・8> 第4章 原虫の性質				配布資料の事前通読	
	5	<時間9・10> 第5章 ウイルスの性質				配布資料の事前通読	
	6	<時間11・12> 第6章 感染と感染症:微生物感染の機構				配布資料の事前通読	
	7	<時間13・14> 感染の成立から発症・治癒				配布資料の事前通読	
	8	<時間15・16> 細菌感染の機構、真菌感染の機構				配布資料の事前通読	
	9	<時間17・18> ウイルス感染の機構				配布資料の事前通読	
	10	<時間19・20> 第7章 感染に対する生体防御機構				配布資料の事前通読	
	11	<時間21・22> 第8章 感染源・感染経路からみた感染症				配布資料の事前通読	
	12	<時間23・24> 第9章 感染症の予防				配布資料の事前通読	
	13	<時間25・26> 第10章 感染症の診断				配布資料の事前通読	
	14	<時間27・28> 第11章 感染症の治療				配布資料の事前通読	
15	<時間29・30> 第12章 感染症の現状と対策				配布資料の事前通読		
評価方法	・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験(的野)	◎	◎				50%
	筆記試験(丸谷)	◎	◎				50%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	看護学概論 I					
科目名(英)	Introduction to nursing science I					
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	光武和寿	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務	
対象学科・学年	看護科・1年					
授業概要	看護の基本となる概念、看護の本質、生活の要素と健康の関わりなど、看護の対象としての人間理解への機会とする。さらに看護理論家を通して看護のパラダイムはもとより、看護に関する歴史また未来の見通しについても伝え、看護学の本質を理解させるとともに、各領域の看護学への興味関心の基礎とする。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				看護の歴史的変遷を通して看護の概念・役割を説明できる。
	○	○				看護専門職者として今後の看護の課題と方向性について説明できる。
	○	○				健康の概念を広く捉えて説明する。
	○	○				看護の対象ある人間の理解に加え、生活者としての人間についても説明する。
	○	○				看護の機能と役割について説明する。
	○	○				看護職者としての倫理的態度を身につける意義を説明する。
テキスト・教材 参考図書	志田岐 康子:『ナースングラフの 基礎看護学(1) 看護学概論』, メディカ出版, 2017 講師配布資料					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	＜時間:1・2＞看護の責務とその広がり			配布資料の事前通読	
	2	＜時間:3・4＞看護への導入			配布資料の事前通読	
	3	＜時間:5・6＞看護の対象とその理解			配布資料の事前通読	
	4	＜時間:7・8＞健康と病気におけるウエルネスの促進			配布資料の事前通読	
	5	＜時間:9・10＞ライフサイクルと健康			配布資料の事前通読	
	6	＜時間:11・12＞看護実践のための理論的根拠			配布資料の事前通読	
	7	＜時間:13・14＞看護における倫理と価値			配布資料の事前通読	
	8	＜時間:15・16＞看護ケアの基本的役割			配布資料の事前通読	
	9	＜時間:17・18＞看護過程			配布資料の事前通読	
	10	＜時間:19・20＞看護における法的側面			配布資料の事前通読	
	11	＜時間:21・22＞保健・医療・福祉システム			配布資料の事前通読	
	12	＜時間:23・24＞看護の展開と継続性			配布資料の事前通読	
	13	＜時間:25・26＞看護ケアのマネジメント			配布資料の事前通読	
	14	＜時間:27・28＞災害看護の基礎			配布資料の事前通読	
	15	＜時間:29・30＞国際看護			配布資料の事前通読	
評価方法	・筆記試験にて評価を行う。 ・60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	筆記試験	◎	◎			
						評価割合
						100%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は、科目の評価を受ける資格を失う。					

科目名	基礎看護技術 I									
科目名(英)	Basic nursing technology I									
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	中垣沙弥香					
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて助産師として勤務					
対象学科・学年	看護科・1年									
授業概要	生活を整える技術である清潔援助・活動休息の内容について教授する。									
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		実技:	○	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				1.健康生活と清潔との関連が説明できる。				
	○	○				2.人の清潔な状態について説明できる。				
			○			3.清潔を整えるための援助技術が実施できる。				
	○	○				4.健康生活と活動・休息との関連が説明できる。				
	○	○				5.人の活動・休息状態のに説明ができる。				
			○			6.効率的で安全安楽なポジショニング技術の実施ができる。				
テキスト・教材 参考図書	有田清子:『系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護術 I』, 医学書院, 2019年									
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示				
	1	<時間:1・2>生理的、心理的、社会的な側面からの清潔・衣生活の意義				テキスト事前通読 適宜課題実施				
	2	<時間:3・4>生理的、心理的、社会的な側面からの清潔・衣生活の目的				テキスト事前通読 適宜課題実施				
	3	<時間:5・6>清潔、衣生活に対するニーズの把握				テキスト事前通読 適宜課題実施				
	4	<時間:7・8>清潔、衣生活に対するニーズのアセスメント				テキスト事前通読 適宜課題実施				
	5	<時間:9・10>学内演習(清拭、病衣交換、洗髪)				テキスト事前通読 適宜課題実施				
	6	<時間:11・12>体位変換援助				テキスト事前通読 適宜課題実施				
	7	<時間:13・14>床上移動援助				テキスト事前通読 適宜課題実施				
	8	<時間:15・16>車椅子・ストレッチャーでの移動				テキスト事前通読 適宜課題実施				
	9	<時間:17・18>休息と睡眠の意義				テキスト事前通読 適宜課題実施				
	10	<時間:19・20>休息と睡眠のメカニズム				テキスト事前通読 適宜課題実施				
	11	<時間:21・22>休息と睡眠のニーズに関するアセスメント				テキスト事前通読 適宜課題実施				
	12	<時間:23・24>休息睡眠を促す援助方法				テキスト事前通読 適宜課題実施				
	13	<時間:25・26>安楽な体位(演習)				テキスト事前通読 適宜課題実施				
	14	<時間:27・28>ボディメカニクス(演習)				テキスト事前通読 適宜課題実施				
	15	<時間:29・30>まとめ・振り返り				テキスト事前通読 適宜課題実施				
評価方法	・筆記試験(清潔:60%)+(活動40%) 合計100% ・筆記試験 60%以上を合格とし、59%以下は、再試験対象となる。 ・実技は、評価点数には含めないが、実技中に技術の上達を確認する。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	筆記試験	◎	◎				100%			
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。									

科目名	基礎看護技術Ⅱ						
科目名(英)	Basic nursing technology II						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	野中紀子 尾崎恵美		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	2名とも病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	医療・療養環境を整える技術として環境、安全予防(滅菌操作含む)、死のケアの内容を教授する。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				1.健康生活と環境との関連が説明できる。	
	○	○				2.快適な環境状態のアセスメントができる。	
	○	○	○	○		3.快適な病室環境を整えるための援助技術:ベッドメイキングの実施ができる。	
	○	○				4.安全安楽な技術の必要性について理解し説明できる。	
	○	○				5.死のケアを通して自己の死生観について説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	有田 清子:『系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ』, 医学書院, 2019 有田 清子:『系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅱ』, 医学書院, 2017						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	<時間:1・2>環境整備の意義			テキスト事前通読、適時課題実施		
	2	<時間:3・4>療養環境を整えるとは(温度・騒音・匂い・換気・色調)			テキスト事前通読、適時課題実施		
	3	<時間:5・6>病室環境のアセスメントと調整			テキスト事前通読、適時課題実施		
	4	<時間:7・8>学内演習(ベッドメイキング)			テキスト事前通読、適時課題実施		
	5	<時間:9・10>学内演習(臥床患者のベッドメイキング)			テキスト事前通読、適時課題実施		
	6	<時間:11・12>まとめ・振り返り			テキスト事前通読、適時課題実施		
	7	<時間:13・14>安全とは			テキスト事前通読、適時課題実施		
	8	<時間:15・16>安全を守るための技術(スタンダードプリコーション)			テキスト事前通読、適時課題実施		
	9	<時間:17・18>安全を守るための技術(感染性廃棄物・医療器材の取り扱い)			テキスト事前通読、適時課題実施		
	10	<時間:19・20>学内演習(滅菌物の取り扱い)			テキスト事前通読、適時課題実施		
	11	<時間:21・22>学内演習(滅菌操作)			テキスト事前通読、適時課題実施		
	12	<時間:23・24>振り返り・まとめ			テキスト事前通読、適時課題実施		
	13	<時間:25・26>危篤時の看護			テキスト事前通読、適時課題実施		
	14	<時間:27・28>死亡時の看護			テキスト事前通読、適時課題実施		
15	<時間:29・30>サプライ見学(施設見学)			テキスト事前通読、適時課題実施			
環境	・筆記試験(環境:50%)+(安全:50%) 合計100% ・筆記試験 60%以上を合格とし、59%以下は再試験対象となる。 ・点数には含めないが、技術については演習で評価を行う。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験(野中)	◎	◎				50%
	筆記試験(尾崎)	◎	◎				50%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						

科目名	基礎看護技術Ⅳ						
科目名(英)	Basic nursing technology Ⅳ						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	野中紀子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	看護科・1年						
授業概要	生活を整える技術である食事・排泄の内容について教授する。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				1.栄養と食事の基礎知識が説明できる。	
	○	○				2.栄養と食事のアセスメントが説明できる。	
	○	○	○	○		3.栄養状態を整えるための援助技術:食事介助が習得できる。	
	○	○				4.排泄の基礎知識が説明できる。	
	○	○				5.排泄のアセスメントが説明できる。	
	○	○	○	○		6.排泄の援助技術:ポータブルトイレ・おむつ交換・尿器・便器・一時的導尿・持続的導尿・摘便・浣腸が習得できる。	
テキスト・教材 参考図書	有田 清子:『系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ』, 医学書院, 2017 講義配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	<時間:1・2> 栄養と消化吸収機能				テキスト事前通読、適時課題実施	
	2	<時間:3・4> 食事の意義、援助の目的、食事ニーズの把握と阻害要因				テキスト事前通読、適時課題実施	
	3	<時間:5・6> 栄養状態のアセスメント				テキスト事前通読、適時課題実施	
	4	<時間:7・8> 栄養状態が低下している患者への援助、臥床患者への食事介助演習				テキスト事前通読、適時課題実施	
	5	<時間:9・10> 排泄の意義、排尿・排便のメカニズム				テキスト事前通読、適時課題実施	
	6	<時間:11・12> 排尿・排便行動のアセスメント				テキスト事前通読、適時課題実施	
	7	<時間:13・14> 排泄の基本的援助(環境整備)				テキスト事前通読、適時課題実施	
	8	<時間:15・16> 排泄の基本的援助(排泄器具と設備)				テキスト事前通読、適時課題実施	
	9	<時間:17・18> 排泄の基本的援助(床上排泄の援助方法)				テキスト事前通読、適時課題実施	
	10	<時間:19・20> 排泄の基本的援助(排泄と感染予防)				テキスト事前通読、適時課題実施	
	11	<時間:21・22> 排尿・排便障害時の援助:ポータブルトイレ・おむつ交換				テキスト事前通読、適時課題実施	
	12	<時間:23・24> 尿器・便器を用いた援助				テキスト事前通読、適時課題実施	
	13	<時間:25・26> 一時的導尿、持続的導尿の援助				テキスト事前通読、適時課題実施	
	14	<時間:27・28> 浣腸、摘便の援助				テキスト事前通読、適時課題実施	
15	<時間:29・30> まとめ				テキスト事前通読、適時課題実施		
環境	・筆記試験(食事:30%)+(排泄:70%) 合計100% ・筆記試験 60%以上を合格とし、59%以下は再試験対象となる。 ・点数には含めないが、技術については演習で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	食事:筆記試験(野中)	◎	◎				30%
	排泄:筆記試験(野中)	◎	◎				70%
履修上の注意	出席時間が所定時間の3分の2に満たない者は科目の評価を受ける資格を失う。						